

蓮田市政策研究会議の研究課題について

蓮田市の将来像を実現するため、①健康で暮らせるまち ②協働のまち ③学びと潤いのまち ④都市活動がいきづく活力あるまち を基本理念として取り組んでいます。

具体的には、中長期的な視点に立って行政施策の合理的な展開と地域社会の発展的な運営の指針として「総合振興計画基本構想」を定めています。また、基本構想の推進にあたっては3か年実施計画のローリングや所管事業の評価等において、その成果と進捗を確認しながら取り組んでいるところです。

一方、市が進めている各種施策について市民の目線で議論し、市の施策に反映していくことを目的に「蓮田再生会議」を設置し、施策の立案、あるいは企画の段階から市民のかたにご参加を頂きました。

蓮田再生会議では、①子育て・教育部会、②福祉・医療部会、③産業・環境部会、④街づくり部会、⑤市民協働部会において、それぞれの部会ごとに活発なご意見を頂きました。

これまでの意見・提言を整理し、【蓮田市の将来】への課題の整理を行いました。

蓮田市の将来と展開方向

課題Ⅰ 少子化対策

《蓮田再生会議からの意見》

- ◆ 保育園の充実・・・通勤に便利な場所に(一時保育含む)
- ◆ 待機児童対策 ◆ 保育園と学童保育所のサービス時間の延長
- ◆ ファミリーサポートセンターの拡充 ◆ 子育て教育の情報発信
- ◆ 世代をつなぐ活動 ◆ 児童・生徒の安心安全活動
- ◆ 教育レベルの維持・向上

展開方向【子供を生み・育てやすい環境の向上】

- 子育て世帯を蓮田市に呼び込む
- 出生数を増やす
- 婚姻率を高める
- 子育て世代の転出を抑制する

課題Ⅱ 高齢化対策

《蓮田再生会議からの意見》

- ◆ 元気な高齢者が支える体制づくり ◆ 高齢者が元気になる施策
- ◆ ふれあいいきいきサロン・シニア体操等の取り組み

- ◆自治会による「自分たちで楽しむ健康づくり」活動
- ◆認知症サポーター養成講座
- ◆高齢者見守り支援ネットワークと地域支え合いサービス
- ◆高齢者の生きがい対策・高齢者の労働力の活用
- ◆良き福祉と良き医療の一体化と連携

展開方向【健康・高齢化の支援】

- 健康・元気な高齢者のまちをアピールして蓮田市に呼び込む
- 子供から高齢者まで共助社会に取り組むまちにする

課題Ⅲ 「ふるさと 蓮田」とまちの魅力づくり

《蓮田再生会議からの意見……蓮田のここがいい》

- ◆水と緑の自然環境が身近にある
- ◆災害が少ない安心・安全な街
- ◆都心に近い
- ◆蓮田スマートインターがある
- ◆歴史のある蓮田
- ◆国指定史跡「黒浜貝塚」
- ◆市民活動が活発
- ◆地域の団結力がある
- ◆人とのつながりがある
- ◆教育環境が良い
- ◆地域の教育力がある

展開方向【郷土愛の醸成と街の魅力づくり】

- 蓮田市に住んでみたいと思わせる景観をつくり出す
- 情報発信により蓮田市への関心・注目を高める
- 地域の誇れる場所を整備し転出を抑制する
- 文化・スポーツの誇れるまちにする

課題Ⅳ 活性化対策

《蓮田市の地理的条件》

- ◆JR宇都宮線の東京駅直接乗り入れ
- ◆JR宇都宮線の始発電車の繰り上げ・最終電車の繰り下げ
- ◆スマートインターチェンジの整備
- ◆蓮田サービスエリアの拡充
- ◆工業団地整備計画の推進

展開方向【安定した雇用の確保と企業・就業の促進】

- 蓮田市に住んで働きたいと思わせる
- 地域の雇用対策を進め転出を抑制する

課題Ⅴ 移住・定住対策

《蓮田再生会議からの意見……住みたい街の姿》

- ◆災害のない安心・安全な街
- ◆人の温もりが感じられる街
- ◆地域交流のある街
- ◆自然との調和のとれた街

- | | |
|-------------|-----------------|
| ◆ 静かで穏やかな街 | ◆ 子供と高齢者が共存できる街 |
| ◆ 安心して暮らせる街 | ◆ 交通アクセスの良い街 |
| ◆ 買い物に便利な街 | ◆ 教育水準が高い街 |

展開方向【住み続けられる定住環境の確保】

- 転入者を受け入れられる環境を整える
- 住み続けられる環境を整える
- 世代同居・近居の促進

以上の課題や施策の展開方向は、現在あるいは将来も重要な課題である人口増加策とシティセールスとを兼ね備えた蓮田市の方向であると考えます。